

5月の広場のこんな出来事 こんな話

庭の散歩 “アリ”も “小枝”も “土”も “風”も 子ども達に何かを語りかけています

5月の爽やかな風に誘われて、庭に出てみました。地面ではたくさんのアリが忙しそうに動いています。「いた!」「ここにも!」と、アリの動きを目で追いながら、次に手を出して捕まえようとしてみたり、しばらく夢中です。

花壇のところは少し高くなっているのです、小さな山登りです。土の斜面を登ることも、小さな冒険。お母さんと一緒に登ってみます。そして色とりどりの花を見ていますね。



Hくん(2歳3か月)は、枝を見つけました。木の質感、長さの感覚など、大人が教えなくても、自然からたくさんのことを学んでいます。外には、子ども達の五感を刺激してくれるものがたくさんあります。

涼しい木陰で、齋藤先生が絵本を読んでくれました。子どもも大人も学生も、5月の風を感じながら、穏やかな時間を楽しみました。



## 「全部、僕のモノ！」 独り占めが大切な時期 ～心の葛藤を見守れる大人～



Mくん(2歳6か月)は、車が大好き。おばあちゃんと一緒にたくさんのお車を並べて、まるで渋滞しているかのように楽しく遊んでいました。

Sくん(1歳10か月)も、車が大好き。そこで、ミニカーに手を伸ばすと、Mくんに全身で拒否されました。「ギャー！」Sくんは、反り返って大泣きです。その声に、部屋中のみんなが注目しました。Sくんのお母さんは、Sくんの「車で遊びたい」という気持ちを一生懸命受け止め、共感していました。

その空気の中、Mくんは一瞬止まると、目の前のミニカーを両手でめちゃくちゃにしました。Mくんも、これまでに何度も貸してもらえなかった経験があったことでしょうか。Mくんの心の葛藤が手に取るように分かりました。そして、しばらくすると自分で心を立て直しました。

おもちゃをめぐるのトラブル。よくありますね。我が子が独り占めしていると、相手の親子に気を遣い「貸してあげようね」と、言いがちですが、この広場では、周囲にいる全員で、その子の「独り占めしたい」という気持ちを大切にします。貸してもらえなかった子の「使いたかった」気持ちも大切にします。

数年後に、相手の立場に立って物事を考え、心から貸してあげたいと思い「貸してあげるね。どうぞ」という人間になるように、3歳くらいまでの時期には、子どもの要求を満たすことを大切にしています。そして、大人からたくさんの優しさを受けることで、思いやりの気持ちが育つと考えます。

その後のMくん。ミニカーも自動車も独り占めして、お姉さんも独り占めして、大満足！良かった。良かった。大人も子どもも同じ。心が満たされると、人にも優しくなれますよね。

後日、SくんはMくんよりも早い時間に広場に来て、全ての車を独り占めして遊べましたよ。

## 「石」は宝物



テラスに、シャベル、バケツ、ダンプカーを置いておくと、子ども達はすぐに見つけて、遊び始めました。目の前には、大好きな「石」がたくさんあります。皆さんも、子どもの頃、石を集めた経験ありませんか？ 色々な形、色、大きさ、子どもにとっては魅力的なのでしょうね。

シャベルですくって、バケツに入れることに夢中です。興味・関心のあることには集中します。乳幼児期は、やらされた活動では、何も育ちません。

ダンプカーを全部集めて、後ろから押して走らせているMくん(2歳6か月)。この日も、「全部、ぼくのモノ！」いい感じです。

この時期を大切に大切に大人たちは見守ります。



## 砂場が登場



テントウムシの砂場が登場。ホワイトサンドを入れました。ホワイトサンドは、精製砂のため、有機物がほとんど含まれないため、雑菌などの増殖がしにくく、安心して遊ぶことができます。朝1番に来たYくん(3歳11か月)とSちゃん(1歳3か月)は、砂場に直行! Yくんは、リュックサックの中のたくさんの恐竜の中から1体を出し、砂に埋めて「発掘」を楽しんでいます。お姉さんと一緒に、何十分続けたでしょう。この集中力に驚かされます。

お母さんたちは、ベンチで小さい子ども達を抱いて、おしゃべり。よく見ると、自分の子どもではなく、他の子どもです。みんなの子どもをみんなで育てる。広場の精神です。

我が子を他のお母さんに抱いていただき、少しでもホッと出来る時間は子育て中は、貴重です。午後からも頑張れる自分になります。



やがて、裸足になって、どっぴりに入るAちゃん(2歳5か月)。そして、Mくん(2歳6か月)今回3回目の登場。期待通り、ダンプカーを砂場に入れて、「ぼくのモノ!」。

## いつもの絵本の時間

絵本の世界に入り込む楽しさを知った子ども達は、絵本が一番良く見えるところに座り、絵本を楽しむようになってきました。他のところで他の遊びをしている子も、耳で聞いていたり、今していることが終わったら、見に行こうとか、一人一人理由があって、行動しています。子どもの意思を大切に見守ると、その理由が見えてきます。



子どもは、慣れ親しんだ声で同じうたを、同じうたい方、あそび方で、何度もくり返してうたってもらうことが大好きです。くり返し体験することで、うたの魅力を体で感じるようになります。うたをたっぷり味わう心地よさを知ると、今度は子どもから「もう1回」と、くり返すことを要求してくるようになるでしょう。もし、仕草や言葉でくり返すことを要求してきたら、気持ちよく受け入れて、この子が満足するまで何度でもうたってあげてください。

なお、くり返すうたうたときでも、無理に変化をつける必要はありません。大人はつい同じことのくり返しよりも、新しい刺激や驚きを求めてしまうものですが、子どもは「このうたの最後のところで、またくすぐってもらえるかな？」などと予測して「あ、やっぱりくすぐってもらえた」と思い、そうした達成感を味わいながら楽しみます。

予測したり期待したりしていたことが、実際にやってもらえたということを経験していく中で、子どもの大好きな人への信頼がより確かなものになり、お互いの関係を深めていくことができるのです。

ぜひ、お子さんのわくわくする気持ちを一緒に感じながら、ゆったりしたテンポで愛情たっぷりのうた声を聞かせてあげてください。

(0・1・2歳のふれあいうた あそびうた やさしさを育む88の関わり 監修 汐見稔幸 より)

## ♪うえから したから

うえから したから  
おおかせこい こいこいこい

「おおかせ」とは言っていますが、実際には激しくゆらすのではなく、布をゆったりゆらしてあげます。子どもは目で追いながら、心地よい風を感じることができます。最後にゆらしていた布を頭にかぶせて「(いないいない) ばあ」と取ることで、大好きな人の顔が見えて喜びます。また、揺らしていた布を飛ばすと、布の行き先を目で追い、自分に布が掛かることを期待します。

文責 奥田美由紀

### 今後の予定

6月 1日(金) 休み	7月 3日(火)
5日(火) 味噌汁とおにぎりを味わおう	6日(金)
8日(金) 休み	10日(火)
12日(火) 米味噌を作ろう	13日(金)
15日(金)	17日(火)
19日(火)	20日(金)
22日(金) 休み	24日(火)
26日(火)	27日(金)
29日(金) 休み	30日(火)

キャンパス広場の梅の実が大きくなった頃、今年も梅ジュースを作りたいでしょう！

### 桜の聖母短期大学

🏠 福島市花園町 3-6  
☎ 024-534-7137  
(代表)

